1. パスポート

- 確認書類としてアクレディテーションの申請に使用します。

パスポートの有効期限は、大会での滞在期間を通して有効でなければなりません。東京 2020 は、パスポートの有効期限が少なくとも **2020 年 8月 10 日**注１まであることを必要とします。
またパスポートを持っていない日本国籍の方は、アクレディテーション申請書提出の際までに取得していることが必要です。
注１：日本国籍以外の役員の方々に関しては2020年12月31日までの有効期限を必要とします。

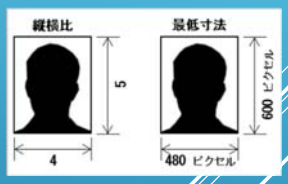
2. 写真

※顔写真認証のため、顔写真データ要件が過去大会より厳格となります

東京 2020 オリンピックのアクレディテーション申請は、申請者のデジタル写真と共に提出する必要があります。 写真は、アクレディテーションカードに印刷されます。

2020年3月下旬までにJOC派遣手続き（顔写真撮影）を受けられる場合は顔写真の提出は不要です
（派遣手続きの際に撮影する顔写真を使用します）

- 下記の要件を満たす場合、スマートフォンや一般的なデジタルカメラ、ウェブカメラで撮影した写真を使用することもできます。



- **縦向き　4：5（横幅：縦幅）**
- **JPEG（.jpg または.jpeg）、**
- **最大 5 MB（メガバイト）までのサイズ（推奨サイズ：500 KB ～ 1.5 MB）**

申請者の顔が写真の 70%から 80%を占めるように撮影して下さい。
また、頭の頂点から肩までが写真に納まっていなければなりません。
背景は白または薄い色であること。
カラー写真であること（白黒写真は認められない）

注意事項

表情

- カメラの方向を向いて立つか座っている状態で、頭を傾けずにカメラを真っすぐ見ること
- 自然な表情のまま口を閉じていること
- 目を開け、はっきりとわかるようにすること
- 長い髪であれば後方で結ぶようにして、髪は目にかからないようにすること
- 色付きのコンタクトレンズを着用しないこと
- また、申請者の顔の輪郭全体が見えるようにし、スカーフや布などのアイテムを着用している場合は顎より上の位置にかからないようにしなければなりません。

スタイルと照明

- 申請者の顔が写真の 70%から 80%を占めるように撮影して下さい。また、頭の頂点から肩までが写真に納まっていなければなりません。
- 写真の中に 1 人で写っていること
- 写真の枠内の中心に写っていること
- 請者の現在の見た目となるべく近い必要があるため、6 か月以内に撮影したものであること
- 背景は白または薄い色であること
- カラー写真であること（白黒写真は認められない）
- 顔や目に影がなく、肌のトーンが自然に出るように均一な照明の下撮影されること
- 明るすぎず、暗すぎないこと
- 申請者の顔や眼鏡にカメラのフラッシュの反射が写っていないこと
- セルフィー（自撮り）は認められない（スマートフォンが勝手に左右反転してしまう可能性があるため）

写真の質

- 焦点が合っているもので、はっきりしていること
- 解像度が高いこと（画像が粗くないもの）
- 修正や、見た目を改善するためにいかなるデジタル加工も加えられていないこと（フィルターの使用、背景の調整・切取り、明るさ・コントラストの修正など）
- 上記記載の寸法やスタイルの要件を満たすために写真のトリミングがされていること。元の顔の寸法が変わってしまう押しつぶしや引き伸ばしを行わないこと
- 普段から眼鏡をかけている申請者については写真撮影の際も着用したままでよいが、目がはっきりと見えていなければならない。眼鏡のフレームは目のどこの部分にも重なっていないこと。

適当	不適当	不適当な理由
		押しつぶし・引き伸ばしなどの加工はされていないこと
		高解像度であること（画像が粗くないこと）
		自然な表情で口を閉じていること
		フィルターなどのデジタル修正をしないこと（目の拡大など）
		写真の 70%~80%が顔で占められていること